

# 令和7年度 第2回 金沢市介護保険運営協議会

日 時：令和8年3月9日（月） 18時30分～  
場 所：金沢市第一本庁舎 7階 全員協議会室

## 次 第

### 1 開 会

- (1) あいさつ
- (2) 新委員紹介

### 2 前回の保留事項

### 3 報 告

- (1) 介護予防・生活支援専門部会からの報告について
  - ・ 介護予防型サービス及び基準緩和型サービスの実施状況について
  - ・ 短期集中型サービス及び一般介護予防事業の実施状況について
  - ・ 生活支援コーディネーター及び協議体の実施状況について
  - ・ いきいきシニア介護支援ボランティアポイント事業の実施状況について
- (2) 地域包括支援センター専門部会からの報告について
- (3) 在宅医療・介護連携推進事業について

資料1  
資料2  
資料3  
資料4  
資料5  
資料6

### 4 議 事

- (1) 「長寿安心プラン2027（仮称）」の策定について

資料7

### 5 その他

- (1) 令和8年度介護保険運営協議会・部会の開催予定について

資料8

### 6 閉 会

## 金沢市介護保険運営協議会委員名簿

令和8年3月9日現在

(19名／50音順)

	氏 名	職 ・ 団 体 等
	浦 上 光太郎	金沢市老人連合会会長
	小 川 外志江	石川県看護協会専務理事
	北 谷 正 浩	石川県理学療法士会会長
	熊 走 一 郎	金沢市医師会理事
	坂 本 修 一	連合石川かなざわ地域協議会事務局長
	新 保 健 吉	石川県介護支援専門員協会金沢支部支部長
◎	高 柳 晃 一	金沢市社会福祉協議会会長
	竹 多 要 介	金沢市歯科医師会理事
	田 中 弘 幸	金沢市身体障害者団体連合会会長
	中 川 一 成	金沢市町会連合会会長
	橋 爪 正	金沢市介護サービス事業者連絡会副会長
	前 田 直 大	金沢市介護サービス事業者連絡会会長
	前 千 代 子	金沢市校下婦人会連絡協議会副会長
	村 井 裕 大	金沢市薬剤師会理事
	村 上 慎 司	金沢大学人間社会研究域地域創造学系准教授
○	森 山 治	金沢大学人間社会研究域地域創造学系教授
	吉 本 貴 志	公募委員
	吉 本 忠 則	金沢市民生委員児童委員協議会会長
	米 田 貢	石川県作業療法士会会長

◎ 会長    ○ 副会長

令和7年度 第2回 金沢市介護保険運営協議会 座席表

竹多 委員	中川 委員	森山 副会長	高柳 会長	橋爪 委員	前田 委員
----------	----------	-----------	----------	----------	----------

新保 委員
坂本 委員
熊走 委員
北谷 委員
小川 委員
浦上 委員
田中 委員

前 委員
村井 委員
村上 委員
吉本 委員
吉本 委員

司会演台

報道

杉本 地域包括 ケア推進 室長	藤本 福祉政策 課長	太田 福祉健康局 次長	山口 福祉健康 局長	一山 介護保険 課長	松本 健康政策 課長
--------------------------	------------------	-------------------	------------------	------------------	------------------

佐々木 住宅政策 課長補佐	角田 生活支援 課長	出口 福祉健康 センター 総務課長	中島 障害福祉 課長	事務局	事務局
---------------------	------------------	----------------------------	------------------	-----	-----

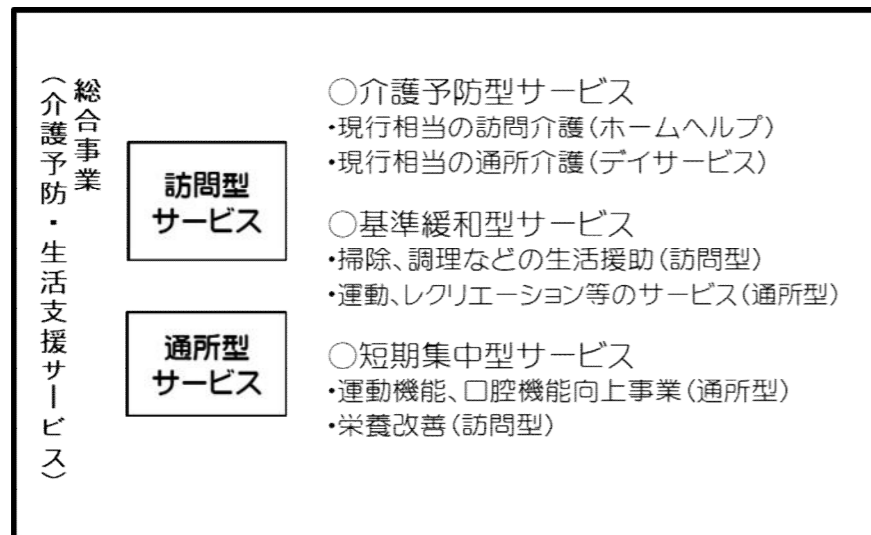
事務局	事務局	事務局	事務局	事務局	事務局
-----	-----	-----	-----	-----	-----

受付

傍聴席   傍聴席

## ◎介護予防型サービス及び基準緩和型サービスの実施状況について

### 1 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）の概要

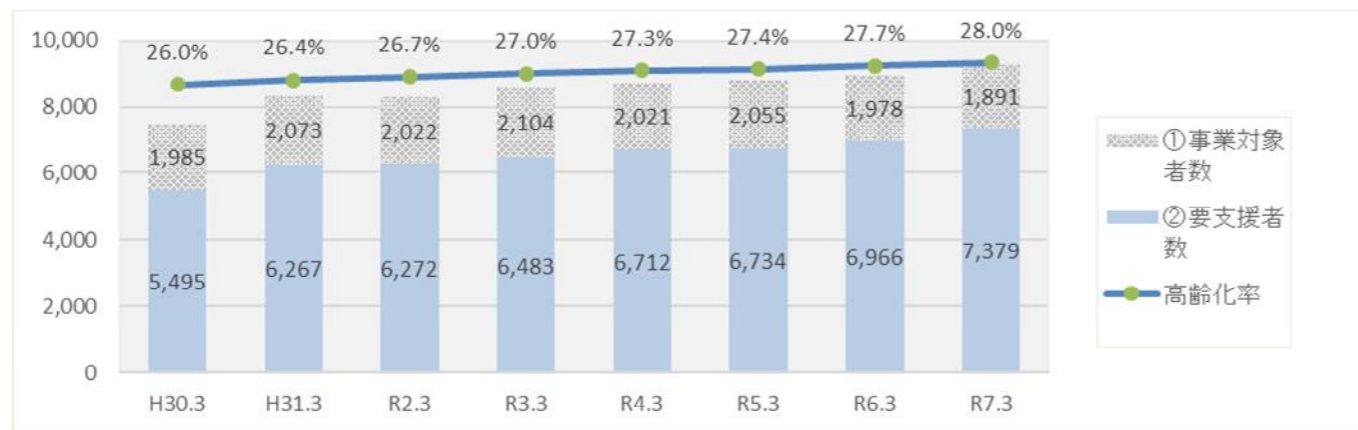


- ・国の制度改正に伴い、平成29年度から介護予防に対する事業体系を見直し、要支援者や事業対象者に対する訪問介護や通所介護は総合事業としてサービス実施
- ・基準緩和型サービスでは、身体介護を伴わない生活援助や運動などのサービスを提供

### 2 総合事業の実施状況について

#### (1) 要支援者及び事業対象者数

（単位：人）

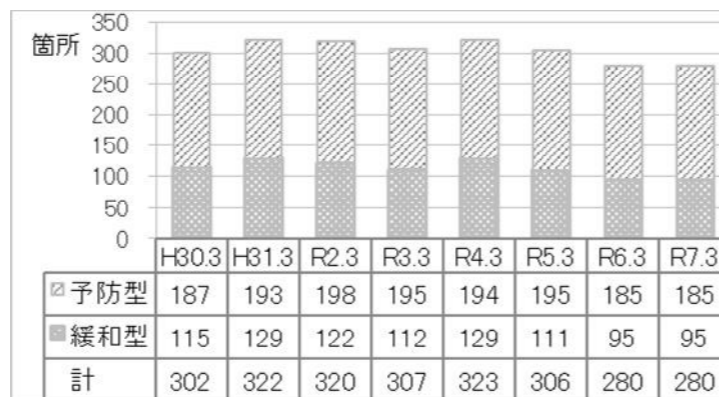
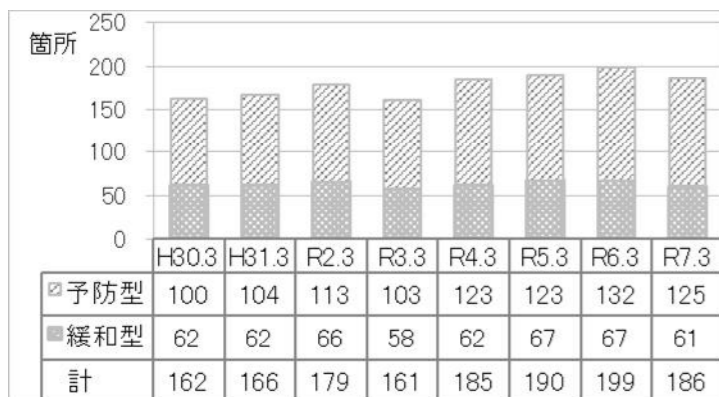


- ・高齢化の進行とともに、総合事業の利用可能者（要支援者及び事業対象者）は増加傾向にあり、特に要支援者数の伸びが大きい。

#### (2) 事業所数

訪問

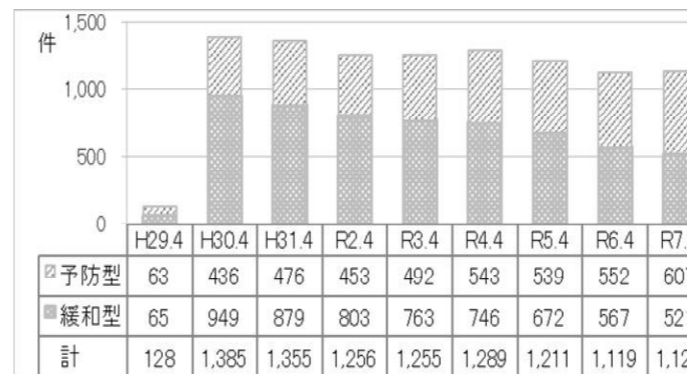
通所



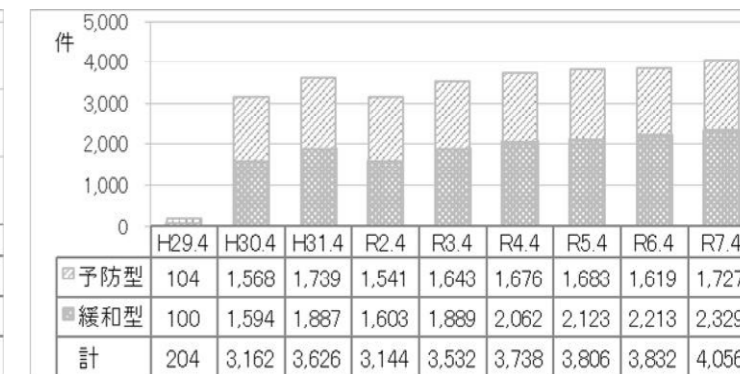
- ・指定事業所数は、訪問サービスはほぼ横ばい、通所サービスはやや減少傾向である。

#### (3) サービス利用件数

##### ①訪問サービス



##### ②通所サービス



- ・令和2,3年度、新型コロナウイルス感染症などの影響等によりサービス利用が一時的に減少したが、令和4年度以降は基準緩和型訪問サービスを除き増加傾向となっている。
- ・基準緩和型訪問サービスの利用減少傾向が著しく、最も利用の多かった平成30年度の約55%まで利用件数が減少している。

#### (4) 基準緩和型訪問サービスについての課題

##### 〔地域包括支援センターへの調査〕

- ・回答のあったセンター全てが「利用者数に対し事業所数が充足していない」とみている
- ・緩和型サービスを提供可能な事業所探しが困難、提供範囲外として断られることもある
- ・事業所が運営面で苦慮していることは窺える
- ・かなざわケアサポーターの就労強化の希望 など

##### 〔介護事業所への調査〕（基準緩和型訪問サービス全事業所）

- ・かなざわケアサポーター（※）の就業が伸び悩む  
令和7年11月現在 就業者9人、事業所の希望雇用者数 約15人
- ※基準緩和型訪問サービスを担うことができる人材で、金沢市が指定する研修の修了者  
金沢市の養成人数 累計231人（R7年度：12人養成）

### 3 基準緩和型訪問サービス 今後の対応について

#### <令和7年度より取り組んでいること>

- ・研修広報の強化（フリーペーパー広告の掲載）→受講人数が例年に比べ増加

#### <検討を要すること>

- ・かなざわケアサポーターを就労につなげる仕組みづくり  
養成研修やフォローアップ研修において就労相談を実施しているが、今すぐでなく将来の就労を見据え受講する人や、就労より自己啓発を目的に受講する人が多いことから、定期的な就労促進の実施（相談案内送付など）
- ・研修修了後すぐの就労のための機運醸成  
修了者が即時的な就労を躊躇する理由をアンケートなどで把握し、解決策を研究

## 短期集中型サービス及び一般介護予防事業の実施状況について

令和7年度 第2回 金沢市介護保険運営協議会	資料2
令和8年3月9日	

### I 短期集中型サービスについて

要支援者及び基本チェックリストによる事業対象者に対して、要介護状態等になることを予防し、地域において自立した日常生活を送ることができるよう、保健・医療の専門職により実施する短期集中型のサービス。(いずれも利用者負担なし)

#### (1)実績 (単位:人)

区分		内容	令和5年度	令和6年度	令和7年度 ※4~12月
通所型	運動器機能向上	介護事業所等で生活機能向上の筋力アップに取り組む	44	35	29
	口腔機能向上	歯科医院に通い、お口の筋力アップなどに取り組む	3	5	2
訪問型	栄養改善	管理栄養士(石川県栄養士会)が自宅に訪問し、栄養相談・栄養指導を行う	3	4	1

#### (2)今後の対応

利用者数は平成29年度のサービス開始当初の人数が最多であり、その後は減少が続いている。  
サービス開始から9年が経過しており、現状や課題の把握、分析を行い、事業の見直しも含めた利用促進策について検討したい。

### II 一般介護予防事業について

すべての65歳以上の方を対象に、福祉健康センターなどで介護予防を推進することを目的とした、フレイル予防、体力づくりや栄養改善の教室の開催や講師派遣を実施している。

#### (1)実績

区分	事業名	内容	令和5年度		令和6年度		令和7年度 ※4~12月	
			開設数	人数(人)	開設数	人数(人)	開設数	人数(人)
介護予防普及啓発事業	転ばん元気な体づくり教室	転倒予防の普及・啓発	6コース	48	6コース	63	6コース	62
	高齢者健康づくり体力増進教室、高齢者OBクラブ	高齢者の体力づくりの普及	131回	6,197 (延数)	130回	5,906 (延数)	99回	4,765 (延数)
	なるほどなっとく健康講習会	介護予防全体の普及(令和3年度は動画も配信)	3回	78 (延数)	3回	110 (延数)	完了	完了

区分	事業名	内容	令和5年度		令和6年度		令和7年度 ※4~12月	
			開設数	人数(人)	開設数	人数(人)	開設数	人数(人)
介護予防普及啓発事業	学ぼう！フレイル予防	専門職講師によるフレイル予防の講話や実技	94回	1,615 (延数)	97回	2,050 (延数)	72回	1,600 (延数)
	出前フレイル予防教室	地域にて専門職がフレイル予防の講話・実技	13回	214 (延数)	13回	243 (延数)	14回	381 (延数)
	フレイル予防栄養教室	フレイル予防の栄養改善知識の普及	4回	33 (延数)	4回	33 (延数)	3回	35 (延数)
	通所型サービス利用者向け栄養改善出前講座	栄養改善知識の普及	1回	18 (延数)	1回	17 (延数)	6回	109 (延数)
	オーラルフレイル	歯科医師による、オーラルフレイル予防に関する講話や実技	4回	88	2回	67	2回	157
	健康スタジオ開放	筋トレマシンを設置しているスタジオ開放	330回	4,322 (延数)	327回	4,434 (延数)	247回	3,255 (延数)
	地域介護予防活動支援事業	フレイル予防の普及	フレイルチェック等	46回	876 (延数)	43回	794 (延数)	36回
地域介護予防活動支援事業	フレイルサポーターの養成	フレイルサポーター	2回	29	2回	21	1回	15
	そくさい地域出前講座	高齢者の介護予防を学ぶための講師派遣	48回	1,003 (延数)	61回	1,647 (延数)	50回	1,166 (延数)
	運動普及推進員養成講座	運動普及のボランティアの育成	1回	18	1回	18	1回	16

#### (2)今後の対応

新型コロナウイルス感染症流行時に参加人数が大幅に減少したが、毎年、教室の内容を見直し、質の向上に努めており、参加者が徐々に増加している。今後も、適切なニーズの把握に心がけ、効果的なサービスの提供を行いたい。

## 生活支援コーディネーター及び協議体の実施状況について

### 1 生活支援コーディネーター

#### (1) 設置目的

全市域（第1層）及び市内20ヶ所の日常生活圏域（第2層）を分担する担当者を金沢市社会福祉協議会に配置。地域活動に参加している住民と専門職をつなぐ、制度と地域や人をつなぐ、住民同士をつなぐなど多様なネットワークを育て、誰もが役割を發揮できる元気な地域づくりを目指している。

#### (2) 役割

- <1>生活支援の担い手の養成、サービスの開発・・・第1層、第2層
- <2>サービス提供主体等の関係者のネットワーク化・・・第1層、第2層
- <3>地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング・・・第2層

### 2 活動状況

#### (1) 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起（役割<1><2>）

##### ①お宝探しワークショップ（身近な支え合い活動の発掘）の開催

地域住民の暮らしの中に潜在する日常の「つながり」や「支え合い」を「地域のお宝」として掘り起こし、見える化することで、介護保険サービスとお宝を組み合わせた皆で支え合う地域づくりを目指すもの。

	実施地区数	延べ開催回数	備考
令和5年度	3地区	3回	
令和6年度	3地区	3回	
令和7年度（～1月）	42地区	1回	地区民児協副会長対象

##### ②SNS等によるつどいの場の情報発信（金沢市社協ホームページおよびFacebook）

	発行回数	備考
令和5年度	12回	
令和6年度	0回	
令和7年度（～12月）	3回	Facebookからinstagramに変更

##### ③令和6年能登半島地震被災者の居場所・つながりづくり ～「あつまらんけNOTOかなざわ」の開催～

	開催数	開催地区数	備考
令和5年度	-	-	
令和6年度	29回	29地区	市社協が主体的に開催
令和7年度（～12月）	7回	8地区	地域主催の形に変更

#### (2) 目指す地域の姿・方針の共有、意識の統一（役割<1><2>）

8つのブロック毎に地区社協・地区民児協及び地域包括支援センター間の情報交換の場を設け、相互の連携を密にし、地域資源の情報共有や地域課題について協議し、地域課題の解決に向けた取組みを推進するもの。

#### 各ブロックの協議内容

	共通テーマ	ブロック別テーマ
令和5年度	コロナ禍で得たこと、大変だったこと	情報発信の方法と必要性、ICT利用状況、高齢化による地域福祉の担い手不足、災害時の協力体制 等
令和6年度	能登半島地震発生時以降の活動の振り返りと今後のあり方	-
令和7年度	あつまらんけNOTOかなざわの振り返りと今後について	地域福祉支援コーディネーター、各種団体との連携、民生委員一斉改選、避難行動要支援者への対応と個別避難計画の作成、高齢者の見守りや友愛訪問 等

#### (3) 地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ（役割<1><2>）

元気な高齢者をはじめ、住民が担い手として参加する住民主体の活動、社会福祉法人、地縁組織、民間企業等の多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築し、高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進するための働きかけ。

#### 各地区地域福祉座談会等の開催

	実施地区数	開催回数	のべ参加人数
令和5年度	45地区	174回	2,739人
令和6年度	45地区	156回	1,836人
令和7年度（～11月）	23地区	55回	931人

#### (4) 関係者のネットワーク化（主に地域包括支援センターとの連携）（役割<2>）

	運営懇談会	地域ケア会議等
令和5年度	13センター18回	12センター26回
令和6年度	19センター33回	6センター19回
令和7年度（～11月）	20センター31回	10センター41回

#### (5) 生活支援の担い手の育成やサービスの開発及びニーズとサービスのマッチング（役割<1><3>）

##### ①地域安心生活支え合い事業の推進

市内全54地区において、地域住民主体の見守り・相談・支援体制を構築

##### ②生活支援フォーラムの開催

- (ア) 地域包括支援センターとの意見交換
- (イ) 地域サロン運営担当者研修と合同開催
- (ウ) 地域のお宝発表会 等



# いきいきシニア介護支援ボランティアポイント事業の実施状況について

## 1 制度の目的

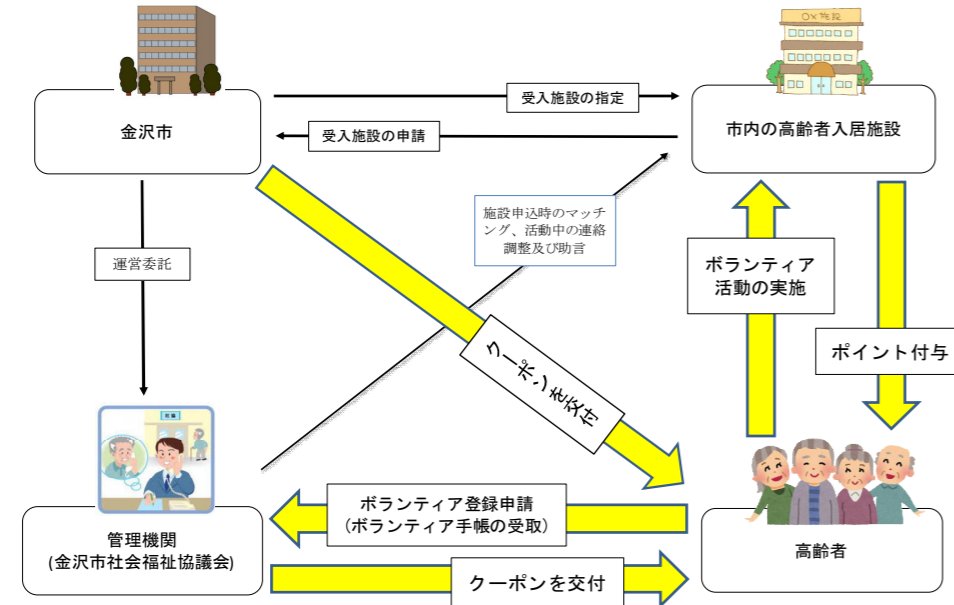
元気な高齢者がその豊かな知識・経験を生かし、地域の福祉活動やボランティア活動に積極的に参画することで、自らの「役割」や「居場所」を実感しながら、健康でいきいきと生活できる環境づくりを推進する。

## 2 事業の概要

### (1) 事業概要

事前にボランティアとして登録をした高齢者が、高齢者の入居施設で行うボランティア活動の実績に応じてポイントを付与。活動1時間につき、10ポイント（1日上限20ポイント）を付与し、200ポイント貯まるごとに、市内の協賛店舗で優遇サービスを受けることができる「金沢元気わくわくクーポン」を交付する。

<事業の流れ>



### (2) 開始時期

平成30年10月 事業開始

### (3) 対象者

65歳以上の市内在住者

### (4) 受入施設

特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、軽費老人ホーム、養護老人ホーム

### (5) 活動内容

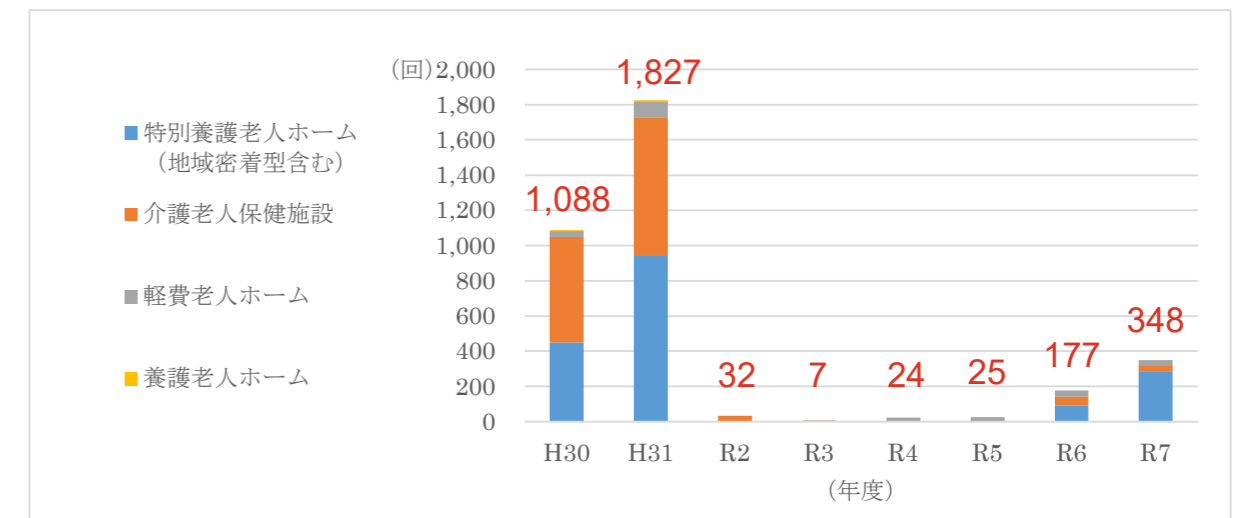
レクリエーションや行事の手伝い、演芸等の披露、習字や華道等の指導、草花の手入れや花壇づくり等

## 3 実施状況

### (1) 年齢別登録者数（令和7年12月現在）

年齢区分	登録人数	割合
65～69歳	4人	11.8%
70～74歳	7人	20.6%
75～79歳	13人	38.2%
80歳以上	10人	29.4%
計	34人	100.0%

### (2) 受入施設別延べ活動回数（平成30年10月から令和7年12月）



### (3) 1人あたり活動回数（平成30年10月から令和7年12月）

月平均2.2回

### (4) クーポン発行申請延べ人数（令和7年12月現在）

103人

## 4 事業推進に関する取組について

### (1) ボランティアが安心して活動できる環境の整備

- ・ボランティア初任者を対象に、活動を行う際の基本的なルールや心構えについて講習を実施
- ・ボランティアが希望に即した活動先を見つけられるよう、受入施設とボランティアのマッチングを実施

### (2) 事業の円滑な運営を図るための取組

- ・受入施設の担当者を対象に、事業の目的や流れやポイント付与の方法等に関する研修、受入れ方法などの情報交換会を実施

## 地域包括支援センター専門部会からの報告

# 地域包括支援センターの事業評価等について

## 1. 概要

- R7年4月 各地域包括支援センターが、R7年度事業活動計画を策定し、これに基づきR7年度の事業を実施
- R7年8月 各センター及び金沢市が、R6年度事業に対して、国の指標に基づく自己評価を実施（8月に国へ報告）
- R7年12月 金沢市が、各センターに対して実地調査を実施
- R8年3月 地域包括支援センター専門部会に、実地調査結果を報告し、令和8年度金沢市地域包括支援センター運営方針を策定

## 2. 各センターに対する実地調査の結果について

国の評価指標に基づく自己評価のうち、未達成項目については、前年度に引き続き改善に向けた指導・助言を行った。また、独自指標に基づく調査の結果、いずれのセンターにおいても概ね適正な運営が確保されていることが確認できたが、一部のセンターについては人員配置に不足が生じているなどの改善が必要な項目があり、改善を図るよう指導を行った。（詳細は右表のとおり）

## 3. 令和8年度地域包括支援センター運営方針等の策定について

2.を踏まえ、運営方針及び「重点的に取り組む事項」を策定

### 令和8年度重点的に取り組む事項

- ① 認知症の方とその家族に対する支援体制の充実
- ② 高齢者が地域で自立した生活を継続するための支援体制と連携体制の推進
- ③ 地域ケア会議を中心とした地域課題の集約及び解決に向けた取組の推進
- ④ センター職員の人材育成及び業務効率化に係る体制整備

実地調査結果

A:適切、B:概ね適切だが、十分ではない、C:要改善

項目	調査事項	評価				
		A	B	C		
<b>I 地域包括ケアシステムの構築・推進</b>						
	担当圏域の現状及び将来像やニーズの把握	実態把握、担当圏域の地域課題の把握	支援が必要な高齢者や担当圏域の地域課題の情報収集が適切に実施されているか。	20	0	0
<b>II 組織・運営体制等</b>						
<b>(1) 組織・運営体制</b>						
	事業計画	計画の策定、評価等	事業計画の策定状況及び、策定した事業計画について、センター内及び関係機関にも周知理解がなされているか。	20	0	0
	職員配置	市独自配置基準職員の配置、専門職の資格等の状況、職員証の携帯等	法定の3職種の配置に加え、3職種のいずれかの資格を持った職員や、高齢者人口に応じて加配されている職員等が配置されているか。	11	3	6
	職員研修	研修の参加状況、伝達研修の実施	Off-JTの実施だけでなく、参加した研修についてセンター内で伝達研修の実施をしているか。	20	0	0
	勤務状況	健康診断、時間外勤務、業務改善、メンタルヘルス等	職員の職場環境が、働きやすいものであるか。	20	0	0
	広報	広報活動の方法	パンフレットの配布以外にどのような広報活動(対象者、方法、成果)を行なっているか。	20	0	0
<b>(2) 個人情報の管理</b>						
	個人情報保護	個人情報保護指針・対策等	個人情報保護について、適正な取扱が行われているか。	20	0	0
<b>(3) 利用者満足度の向上</b>						
	苦情対応体制	苦情処理担当者の明示、苦情対応体制、カスハラ対応体制	苦情処理担当者の明示や苦情を受けた場合において、内容を把握し本人及び家族の意向を尊重しながら対応をしているか。	20	0	0
	設備	場所の表示、電話回線の確保、プライバシーへの配慮	市民に分かりやすい場所の表示や電話回線の確保がされているか。	19	1	0
<b>III 個別業務</b>						
<b>(1) 総合相談支援業務</b>						
	総合相談支援	相談対応状況の共有、ネットワーク構築、モニタリング等	ケースの引継ぎ後もフォローアップとして、モニタリングが実施されているか。関係機関との情報交換等によるネットワーク構築に向けた取組状況	20	0	0
	3職種の連携	各専門職の知識・技術を活かした支援	3職種間での協働により、利用者への重層的・自立的支援に向けた取組状況	20	0	0
<b>(2) 権利擁護業務</b>						
	高齢者虐待への対応	予防・防止・早期発見の体制づくり	高齢者虐待の予防、防止、早期発見に向けた体制づくりのための取組状況	20	0	0
		虐待事例への対応状況	虐待の事例を把握した場合において法律やマニュアル等に基づいた対応ができていないか。	20	0	0
	成年後見制度等の権利擁護	権利擁護への対応状況	成年後見制度等について、制度利用が円滑に実施できるような対応ができていないか。	20	0	0

項目	調査事項	評価				
		A	B	C		
<b>III 個別業務</b>						
<b>(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務</b>						
	圏域内の居宅介護支援専門員に関するデータの把握状況	圏域内の居宅介護支援事業所毎の主任CM、CMの人数・経験年数の把握	圏域内の居宅介護支援専門員に関する情報を把握しているか。	20	0	0
	介護支援専門員への支援	介護支援専門員のニーズ把握と研修開催状況、介護予防サービス計画の検証	介護支援専門員のニーズに基づき事例検討会や地域ケア会議等を開催しているか。	20	0	0
	教室の開催	介護予防教室・家族介護教室の運営状況	介護予防・重度化予防であることを意識した教室運営がなされているか。	15	5	0
<b>(4) 地域ケア会議</b>						
	地域ケア会議の実施状況	地域ケア個別会議や運営懇談会(地域ケア推進会議)の開催状況、記録の整備等	地域ケア会議が発揮すべき機能を踏まえて実施されているか。	18	2	0
<b>(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援業務</b>						
	ケアマネジメント支援状況	公平・中立な事業の実施状況や適切な運営状況、3職種の予防ケアプラン件数	公平・中立に実施されているか。一連のプロセスが、適切に実施されているか。3職種の予防ケアプラン件数が適切か。	17	3	0
<b>IV 包括的支援事業</b>						
	医療機関等との連携状況	医療機関、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援コーディネーターとの連携	医療と介護の連携に資する取組をしているか。生活支援コーディネーターと地域における高齢者のニーズや社会資源について協議しているか。	20	0	0
<b>V その他</b>						
	業務継続計画(BCP)の策定	感染症や自然災害の発生時における事業継続や早期再開のための計画の策定	感染症や自然災害の発生時において地域包括支援センターの事業継続や早期再開が可能となるように、業務継続計画(BCP)を策定しているか。	20	0	0

認知症地域支援推進員設置事業	職員配置	資格、兼務業務	配置条件を満たした認知症地域支援推進員が配置されているか。	20	0	0
	認知症の人や家族への個別支援	相談状況、認知症カフェ	本人や家族等から認知症と思われる高齢者の相談を受けた場合における継続的な支援の実施状況	20	0	0
	地域住民への理解の普及・促進	普及啓発活動、認知症サポーター養成講座、見守り体制の構築	地域住民や関係機関に対して、認知症に関する正しい知識の普及啓発等の実施状況	19	1	0
	地域資源の発掘・開発	認知症に関する地域資源の把握	認知症に関する地域資源を把握し、共有しているか。	20	0	0
	関係機関との連携	オレンジパートナー、医療機関や介護事業所との連携	オレンジパートナー、医療機関や介護サービス事業所との連携状況	20	0	0
	認知症の早期診断・早期治療に繋ぐ支援	認知症専門医相談、初期集中支援事業	必要な高齢者等に対して、専門医療機関への受診支援や初期集中支援が実施されているか。	20	0	0
	認知症予防	地域主導型の取組	介護予防サポーター等と協働した認知症予防教室等の取組状況	20	0	0

## 在宅医療・介護連携推進事業について

### 1 令和7年度在宅医療・介護連携推進事業活動報告及び令和8年度事業計画（金沢市在宅医療・介護連携支援センター実施）

地域のめざす理想像  
●切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

#### ① 現状分析・課題抽出・施策立案

事業項目	令和7年度事業実績	令和8年度事業計画
<u>(1) 地域の医療・介護の資源の把握</u>  ■地域の医療機関、介護事業所の機能等を情報収集 ■情報を整理しリストやマップ等必要な媒体を選択して共有・活用	○新規開業医訪問（金沢てらじクリニック、金沢ねいろクリニック ほか3件） ○病院連携窓口一覧の更新 ○ケアマネタイム一覧の一斉調査（現170診療所）※前年度から11診療所増	○新規開業医訪問の継続 ○病院連携窓口一覧の更新 ○ケアマネタイム一覧の更新
<u>(2) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</u>  ■将来の人口動態、地域特性に応じたニーズの推計	○医療と介護の連携に関するアンケート（一斉調査）の実施 ※3年ごと1,365事業所 ○地域包括支援センター運営懇談会への参加（20回） ○地域包括支援センター地域ケア会議への参加（1回）	○入退院時における医療と介護の連携状況調査（10月調査）の実施（介護施設、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所） ○地域包括支援センター運営懇談会への参加（20回） ○地域包括支援センター地域ケア会議への参加
<u>(3) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進</u>  ■地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進	○いいがいネット連携委員会の開催（3回） ○いいがいネット連携委員会ワーキングの開催（3回） ※金沢版エンディングノートの検討 ○いいがいネット定例会の開催（5回）	○いいがいネット連携委員会の開催（3回） ○いいがいネット連携委員会ワーキングの開催（年3回） ※金沢版エンディングノートの検討及び試用 ○いいがいネット定例会の開催（5回）

#### ② 対応策の実施

事業項目	令和7年度事業実績	令和8年度事業計画
<u>(4) 在宅医療・介護関係者に関する相談支援</u>  ■コーディネーターの配置等による相談窓口の設置 ■関係者の連携を支援する相談会の開催	○いいがいネットコーディネーターによる相談支援の実施（件数27件）	○いいがいネットコーディネーターによる相談支援の実施
<u>(5) 地域住民への普及啓発</u>  ■地域住民等に対する講演会やシンポジウムの開催 ■周知資料やHP等の作成	○市民公開講座の開催（11/8 82名） ○かがやき発信講座の開催（17回予定） ○いいがいネットHPの更新（もしバナカード貸出申込フォーム追加等）	○市民公開講座の開催（1回） ○かがやき発信講座の開催 ○いいがいネットHPの更新
<u>(6) 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識習得等のための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援</u>  ●医療・介護関係者の情報共有の支援 ●医療・介護関係者の研修	○ICT研修会の開催（3月6日） ○在宅療養セミナーの開催（8/21 79名） ○在宅医療災害時対応研修の開催（10/16 103名） ○在宅医療症例検討会の開催（11/14 47名） ○在宅4グループ合同研修会の開催（2/16 107名） ○ACPファシリテーター（エリアリーダー）育成研修の実施（12名修了） ○在宅医療連携グループ（4グループ）による研修会等の開催	○ICT研修会の開催 ○在宅療養セミナーの開催 ○障害福祉関係合同研修会の開催 ○在宅医療症例検討会の開催 ○在宅4グループ合同研修会の開催 ○ACPファシリテーター（エリアリーダー）育成研修の実施（24名予定） ○在宅医療連携グループ（4グループ）による研修会等の開催

#### ③ 対応策の評価・改善 ⇒ 金沢市在宅医療・介護連携推進協議会の開催（1/27）

※ 事業項目は、厚生労働省「在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver. 4」（令和7年3月）に基づく

## 「長寿安心プラン2027（仮称）」の策定について

来年度より「長寿安心プラン2027（仮称）」（第10期老人福祉計画・介護保険事業計画（令和9～11年度））の策定に着手することから、「長寿安心プラン2024」（第9期老人福祉計画・介護保険事業計画（令和6～8年度））の検証を行うとともに、当面の課題について検討するため、「長寿安心プランワーキング」を立ち上げる。

### 1 長寿安心プランワーキングメンバー（50音順）

氏名	職・団体等
北谷正浩	石川県理学療法士会会長
坂本修一	連合石川かなざわ地域協議会事務局長
新保健吉	石川県介護支援専門員協会金沢支部支部長
橋爪正	金沢市介護サービス事業者連絡会副会長
村上慎司	金沢大学人間社会研究域地域創造学系准教授
森山治	金沢大学人間社会研究域地域創造学系教授
吉本貴志	公募委員

### 2 今後のスケジュール（予定）

- 令和8年 4月 第1回長寿安心プランワーキング（以降、月1回程度開催）
- 8月 第1回介護保険運営協議会
  - ・「長寿安心プラン2027（仮称）」における課題について
- 11月 第2回介護保険運営協議会
  - ・「長寿安心プラン2027（仮称）」の骨子（案）について
- 令和9年 2月 第3回介護保険運営協議会
  - ・「長寿安心プラン2027（仮称）」の市長建議（案）について
  - ・施設整備計画及び介護保険料について

※具体的なスケジュールについては、ワーキングで検討

※令和7年度に実施した次の調査結果については、順次、ワーキングや本協議会で報告を行う。

- ・介護労働実態調査（調査期間：令和7年8月18日～9月26日）
- ・在宅介護実態調査（調査期間：令和7年10月15日～令和8年1月31日）
- ・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（調査期間：令和8年2月10日～）

### 令和8年度介護保険運営協議会・部会の開催予定について

年 月	名 称
令和8年4月	○介護サービス等向上専門部会（以降、月1回程度開催） ○長寿安心プランワーキング（                   〃                   ）
7月	○金沢市地域包括ケアシステム推進基本構想評価専門部会
8月	○介護保険運営協議会（1回目）
11月	○介護保険運営協議会（2回目）
令和9年2月	○地域包括支援センター専門部会 ○介護保険運営協議会（3回目）

※必要に応じて「介護予防・生活支援専門部会」を開催